

# アメリカ アラスカ州 ワシラ高校 畑 さん

留学期間 H29.8.12～H30.5.30

## 1 留学の成果

この 10 ヶ月間の留学を通して、私は今まで小さい何も知らない世界で暮らしていたのだと感じました。アラスカでの生活は知らないことばかりで、おかげで、新しいことをたくさん学べて体験することができました。もちろん言語だけでなく、彼らにとっての‘普通’や自分自身、日本人にとっての‘当たり前’も全然違うのだということも自分の肌で感じることができました。

ワシラ高校にはいろいろな人種の人がたくさんいて、私の知らないことがあふれている世界でした。当たり前だと思うかもしれませんが、みんながみんな違って、この人はこの人、あの人はあの人でした。日本では違いを悪く言う傾向があると自分は思っていたのですが、アラスカでは違いに寛容でした。実際に友達が自分では考えたこともない質問をしてくれて、そんなところに焦点をあてるのだと、とても興味がわいたのを覚えています。ある子には日本には刑務所があるのか、犯罪は起こるのかと聞かれました。日本は平和な国というイメージがあったらしいです。

違いについて話すと、アラスカでは大人の男の人は必ずと言っていいほどピストルや携帯用のナイフをもって歩いていました。自分自身や家族を守るためだそうです。日本では考えられない光景で驚いたのを覚えています。あと学校では火災訓練と同様に shooter を想定しての避難訓練も行われました。これも日本ではないと思いました。

この留学はもっと英語を学びたいという気持ちを高めてくれました。しかし英語を学ぶ前に日本についてもっと勉強をするべきだと思いました。自国を説明できなくては英語を話す価値は上がらないのかなと感じました。



## 2 履修状況、課外活動等

### (1) 履修科目

(前期)	(後期)
・ジャーナリズム	・英語
・数学	・コンサートバンド
・コンサートバンド	・数学
・イヤーブック	・解剖学
・解剖学	・日本語
・日本語	・ピアノ
・体育	

### (2) 課外活動および受賞歴等

- ・サッカー

### 3 今後の活動予定

まだ特定の仕事は決まっていますが、高校、大学で英語をもっと学び、将来は何か英語を使って人々の手助けをできる仕事を見つけたりボランティアに参加したりしたいと思っています。

### 4 記録写真



ソリをするために車で山まで行った時の写真。道中、車の中からビーバーの巣を見たり、みんなで歌を歌ったり、英語の発音を教えてもらったりした。

サッカーのチームメイトと最後の試合のときに。サッカーのシーズンは約2カ月と短かった。雪が残る中試合をし、雪の反射で日焼けをした。



プロム（アメリカやカナダの高校で学年の最後に開かれるフォーマルなダンスパーティー）では初めてロングドレスを着た。ホストマザーが髪の毛をアレンジしてくれた。

DJは学校のジャーナリズムの先生がしていた。